



2015年度第3四半期 決算説明資料

2016年2月4日

I. 2015年度第3四半期決算実績

・サマリー	3
・セグメント別内訳	4
・貸借対照表	5
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	6
・受注高・受注残高	7
・売上高	8
・営業利益	9

II. 2015年度業績見通し

・業績見通しサマリー	11
・セグメント別内訳	12

III. 補足資料

補足資料	14-19
------	-------

I . 2015年度第3四半期決算実績

(単位:億円)

	'14-3Q累計 (利益率)		'15-3Q累計 (利益率)		増減 (増減率)	
受注高		26,182		26,309	+126	(+ 0.5%)
売上高		26,833		28,326	+1,493	(+ 5.6%)
営業利益	(6.4%)	1,716	(6.5%)	1,853	+137	(+ 8.0%)
経常利益	(7.0%)	1,882	(6.2%)	1,748	△ 134	(△ 7.1%)
特別損益		△ 458		△ 699	△ 241	—
純利益 (※)	(2.7%)	711	(1.9%)	533	△ 177	(△ 25.0%)
EBITDA	(11.0%)	2,952	(10.9%)	3,101	+148	(+ 5.0%)

**'15-3Q累計特別損益
(△699)の内訳**

【特別利益】

・ 固定資産売却益 42

【特別損失】

・ 客船事業関連損失 △530 (3Qで△221追加計上)
 ・ 事業構造改善費用 △185
 ・ 投資有価証券売却損 △26

(※)'15-3Q累計は「親会社株主に帰属する当期純利益」

第3四半期決算実績 セグメント別内訳

(単位: 億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'14-3Q 累計	'15-3Q 累計	増減	'14-3Q 累計	'15-3Q 累計	増減	'14-3Q 累計	'15-3Q 累計	増減
エネルギー・環境	10,225	9,165	△ 1,060	10,274	10,385	+111	765	691	△ 74
交通・輸送	4,770	4,369	△ 401	3,769	4,057	+288	132	445	+312
防衛・宇宙	1,356	2,155	+799	3,157	3,261	+104	183	193	+10
機械・設備システム (※)	9,617	10,454	+837	9,405	10,429	+1,024	638	553	△ 84
その他 (※)	1,142	1,209	+66	1,044	1,133	+89	63	70	+7
消去または共通	△ 929	△ 1,044	△ 115	△ 817	△ 941	△ 124	△ 66	△ 101	△ 34
合計	26,182	26,309	+126	26,833	28,326	+1,493	1,716	1,853	+137

(※)【報告セグメントの変更について】

・事業再編により、一部の事業のセグメントを、「その他」から「機械・設備システム」に変更。

('14-3Q累計の実績は、変更後のセグメントに合わせて組み替え)

貸借対照表

(単位:億円)

	'14年度末	'15-3Q末	対前年度末 増減
売上債権	12,912	11,567	△1,345
たな卸資産	13,248	14,885	+1,636
その他流動資産	9,358	10,422	+1,064
固定資産	11,963	11,615	△347
投資等	7,720	7,977	+257
資産合計	55,203	56,468	+1,265
買入債務	8,692	7,522	△1,169
前受金	6,631	6,322	△309
その他	8,923	8,780	△142
有利子負債	9,755	12,757	+3,001
純資産	21,200	21,085	△115
(うち自己資本)	(17,807)	(17,672)	(△135)
負債・純資産合計	55,203	56,468	+1,265

利益の積み上がり +136
その他の包括利益 △275
(為替換算調整勘定他)

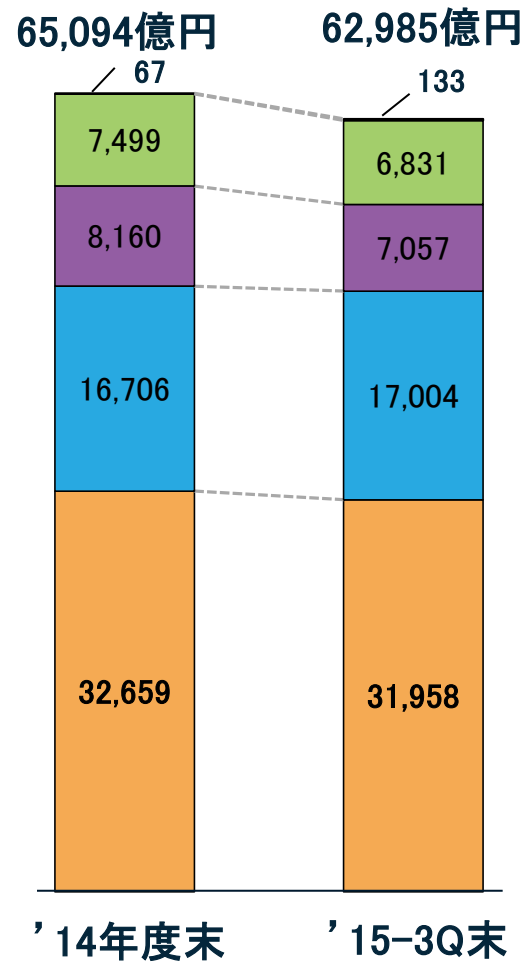
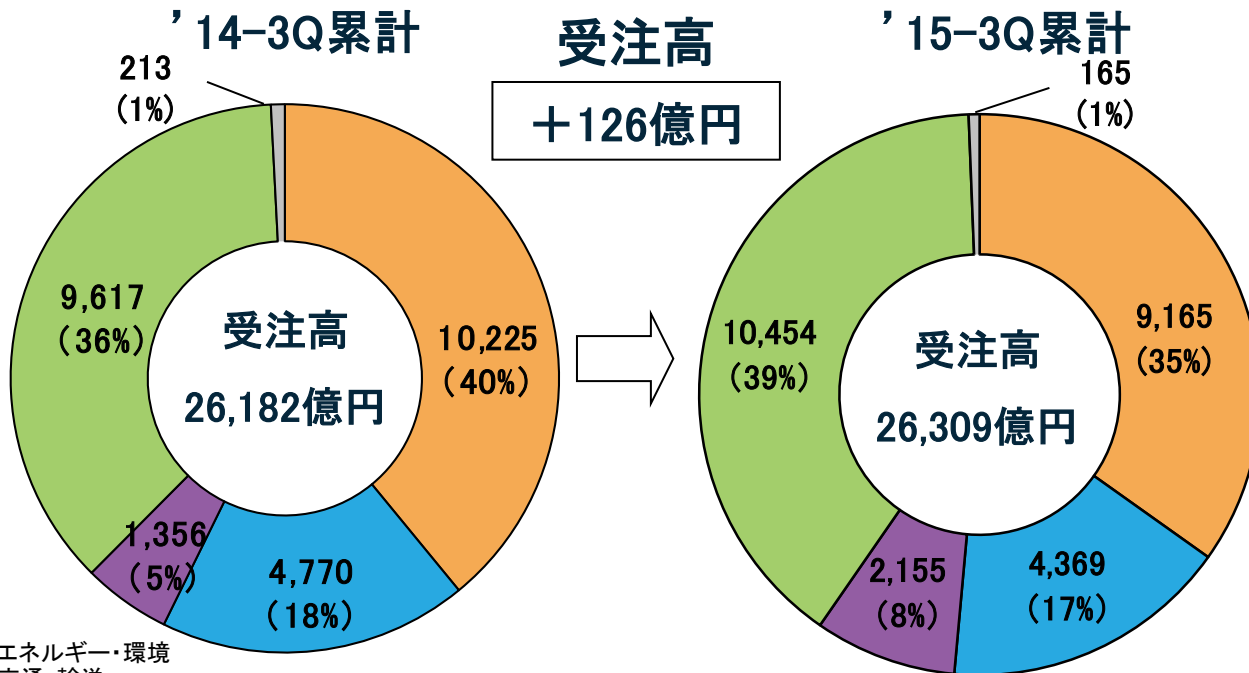
主要財務指標

	'14-3Q末	'14年度末	'15-3Q末	対前年度末 増減
自己資本比率	32.2%	32.3%	31.3%	△ 1.0pt
有利子負債残高 (単位: 億円)	11,553	9,755	12,757	+3,001
D/Eレシオ	0.58	0.46	0.61	+0.15

キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

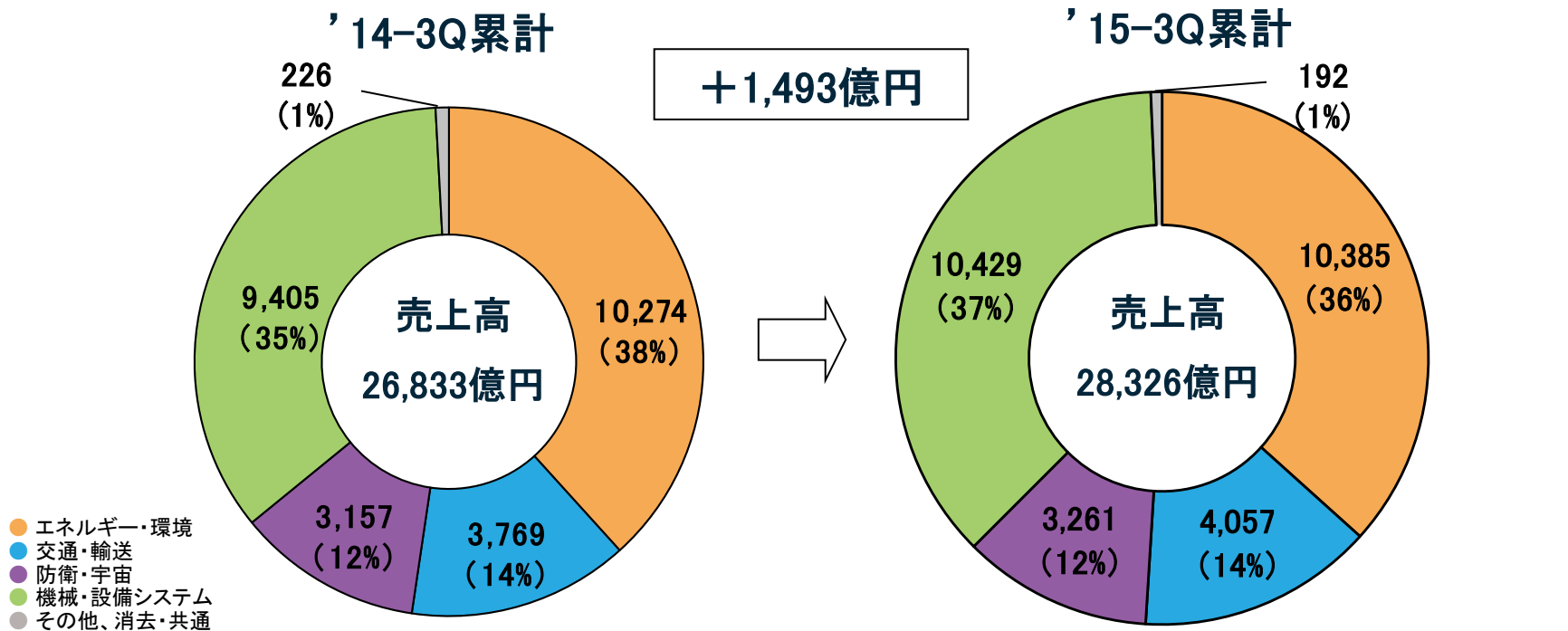
	'14-3Q 累計	'15-3Q 累計	増減
営業CF	△ 890	△ 1,127	△ 236
投資CF	△ 1,320	△ 1,297	+23
フリーCF	△ 2,211	△ 2,424	△ 213



- **エネルギー・環境**
化学プラントが増加した一方
主に火力発電プラントが減少
- **交通・輸送**
商船が増加した一方
MRJや交通システムが減少

- **防衛・宇宙**
防衛が増加
- **機械・設備システム**
製鉄機械・フォークリフトの事業統合
効果や、ターボチャージャ・冷熱等の
規模拡大により増加

※ ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない



➤ **エネルギー・環境**
 火力発電プラントが減収となった一方
 化学プラント等が増収

➤ **交通・輸送**
 民間航空機が増収

➤ **防衛・宇宙**
 防衛が増収

➤ **機械・設備システム**
 製鉄機械・フォークリフトの事業統合効果や
 ターボチャージャ・冷熱等の
 規模拡大により増加

+137億円

1,716億円

1,853億円



➤ エネルギー・環境

姫路第2火力関連対策費用の計上や、火力事業のPMI(※)を進める上での先行費用を掛けていることなどにより減益

➤ 交通・輸送

民間航空機のコスト改善や商船の船種ミックス改善等に加えて、円安効果もあり増益

➤ 防衛・宇宙

防衛の増収により増益

➤ 機械・設備システム

前年同期の在外グループ会社決算期変更影響等により減益

(※) PMI: Post Merger Integration

Ⅱ. 2015年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2015年度業績見通し サマリー

(単位:億円)

	'14年度実績		'15年度		対前年度増減 (増減率)	
	(利益率)		今回見通し (利益率)	15.10.30 見通し		
受注高	46,991		47,000	47,000	+8	(+0.0%)
売上高	39,921		41,000	42,000	+1,078	(+2.7%)
営業利益	(7.4%) 2,961		(7.3%) 3,000	3,200	+38	(+1.3%)
経常利益	(6.9%) 2,747		(6.6%) 2,700	3,000	△ 47	(△1.7%)
純利益(※)	(2.8%) 1,104		(2.2%) 900	1,300	△ 204	(△18.5%)
ROE	6.5%		5.0%	7.1%	△1.5pt	—
EBITDA	(11.7%) 4,650		(11.7%) 4,800	5,020	+149	(+3.2%)
フリーCF	386		△500	0	△ 886	—
配当(1株あたり)	11円 (中間5円/期末6円)		12円 (中間6円/期末6円)			

(※)'15年度見通しは「親会社株主に帰属する当期純利益」

【未確定外貨】

10億ドル (期首:30億ドル)

2億ユーロ(期首:4億ユーロ)

【前提為替レート】

1ドル = 120円

1ユーロ = 130円

2015年度業績見通し セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上高				営業利益			
	'14年度実績	'15年度見通し	対前年度増減	'14年度実績	'15年度		対前年度増減	'14年度実績	'15年度		対前年度増減
					今回見通し	15.10.30見通し			今回見通し	15.10.30見通し	
エネルギー・環境	19,236	20,000	+763	15,995	16,000	16,000	+4	1,626	1,400	1,700	△ 226
交通・輸送	9,992	7,000	△ 2,992	5,295	5,500	6,500	+204	234	550	450	+315
防衛・宇宙	4,174	4,000	△ 174	4,839	4,500	4,500	△ 339	285	270	270	△ 15
機械・設備システム (※)	13,447	15,000	+1,552	13,474	14,000	14,000	+525	877	850	850	△ 27
その他 (※)	1,507	2,000	+492	1,549	2,000	2,000	+450	103	150	150	+46
消去または共通	△ 1,367	△ 1,000	+367	△ 1,233	△ 1,000	△ 1,000	+233	△ 166	△ 220	△ 220	△ 53
合計	46,991	47,000	+8	39,921	41,000	42,000	+1,078	2,961	3,000	3,200	+38

(※)【報告セグメントの変更について】

・事業再編により、一部の事業のセグメントを、「その他」から「機械・設備システム」に変更。

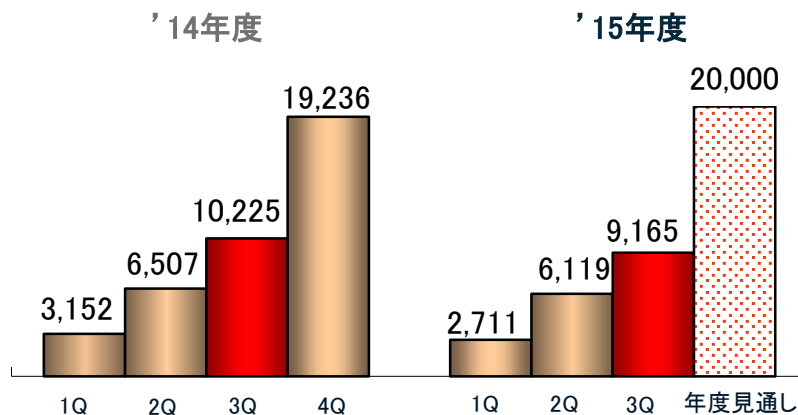
('14年度実績は、変更後のセグメントに合わせて組み替え)

Ⅲ. 補足資料

補足資料① 第3四半期決算実績 <エネルギー・環境>

(億円・各期の数値は累計)

受注



受注 : 対前年同期 $\Delta 1,060$ 億円の減少

大型案件を受注した化学プラントが増加した一方、前年同期に複数の新設プラントの受注があった火力発電プラントが減少したことなどにより、前年同期を下回った。

【ガスタービン受注台数】

'14-3Q累計 : 26台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	4	4	1	-	9
中小型	-	1	7	9	17
合計	4	5	8	9	26

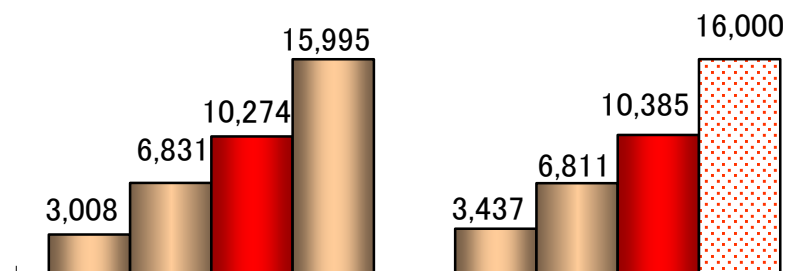
【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
'14-3Q末	39	37	76
'14年度末	34	33	67
'15-3Q末	40	28	68

'15-3Q累計 : 12台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	1	6	1	2	10
中小型	-	1	-	1	2
合計	1	7	1	3	12

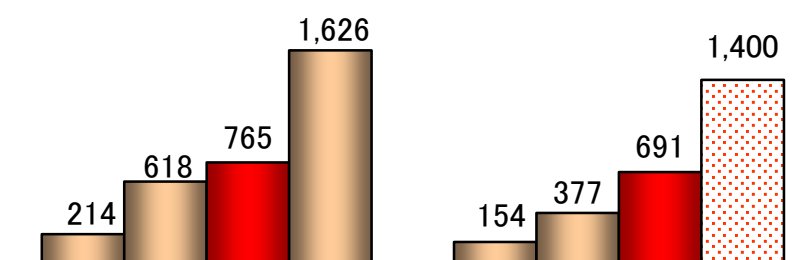
売上



売上 : 対前年同期 +111 億円の増収

火力発電プラント等が減収となった一方、化学プラント等の増収により、前年同期を上回った。

営業利益



損益 : 対前年同期 $\Delta 74$ 億円の減益

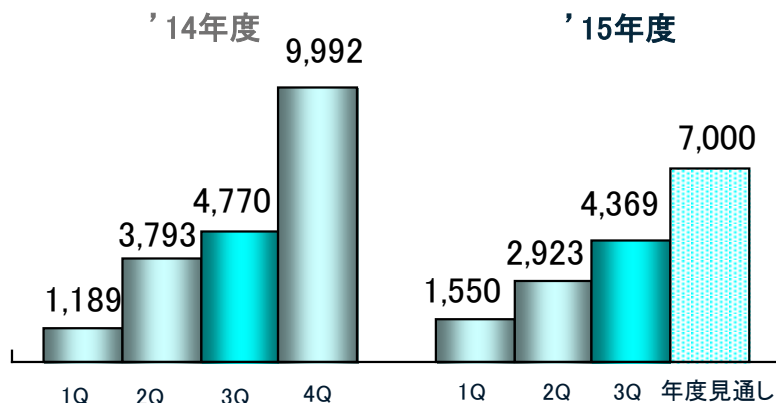
姫路第2火力関連対策費用の計上や、火力事業のPMIを進める上での先行費用を掛けていることなどにより、前年同期を下回った。

年間見通し

営業利益 : 1,700 億円から 1,400 億円へ修正

(億円・各期の数値は累計)

受注



受注 : 対前年同期 △401億円の減少

商船が増加した一方、MRJや交通システムが減少したことなどにより、前年同期を下回った。

【商船 受注隻数】

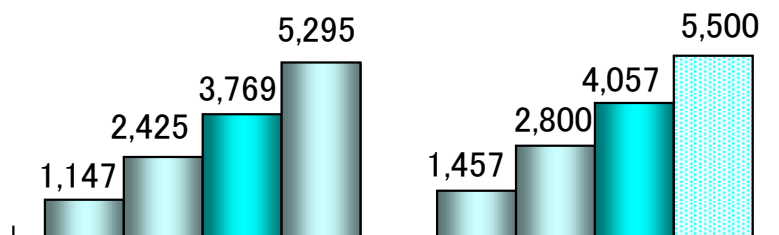
'14-3Q累計 : 7隻 (1Q:3隻、2Q:3隻、3Q:1隻、4Q:4隻)

'15-3Q累計 : 11隻 (1Q:4隻、2Q:2隻、3Q:5隻)

【商船 契約残隻数】 39隻

(LNG船 12隻、LPG船 8隻、巡視船 6隻 他)

売上



売上 : 対前年同期 +288億円の増収

民間航空機を中心に増加し、前年同期を上回った。

【B777 引渡機数】

'14-3Q累計 : 76機 (1Q:26機、2Q:24機、3Q:26機、4Q:22機)

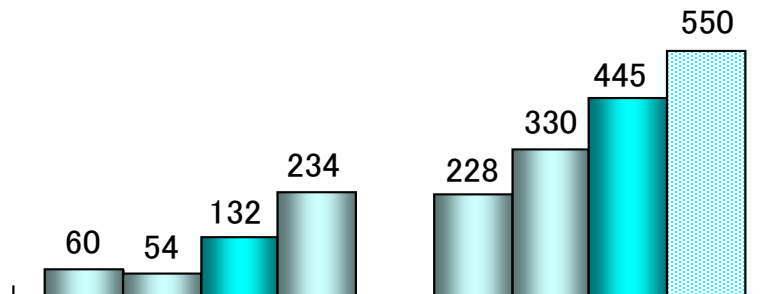
'15-3Q累計 : 80機 (1Q:28機、2Q:27機、3Q:25機)

【B787 引渡機数】

'14-3Q累計 : 90機 (1Q:32機、2Q:28機、3Q:30機、4Q:32機)

'15-3Q累計 : 92機 (1Q:32機、2Q:31機、3Q:29機)

営業利益



損益 : 対前年同期 +312億円の増益

民間航空機のコスト改善や商船の船種ミックス改善等に加えて、円安効果もあり前年同期を上回った。

年間見通し

売上高 : 6,500億円から5,500億円へ修正

営業利益 : 450億円から550億円へ修正

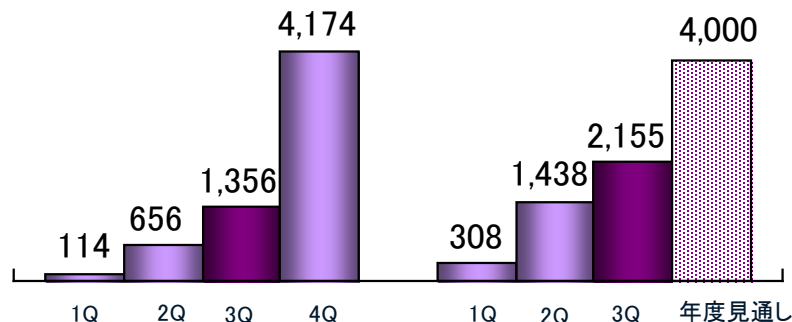
補足資料① 第3四半期決算実績 <防衛・宇宙>

(億円・各期の数値は累計)

'14年度

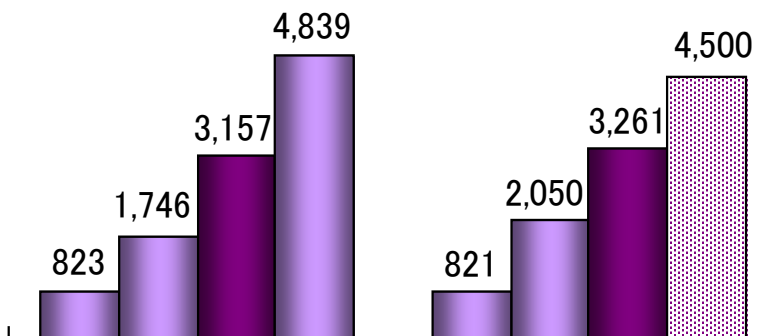
'15年度

受注



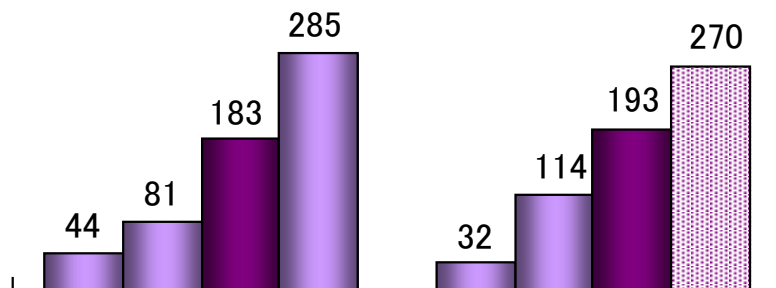
受注 : 対前年同期 +799億円の増加
防衛が増加し、前年同期を上回った。

売上



売上 : 対前年同期 +104億円の増収
艦艇等、防衛を中心に増加し、前年同期を上回った。

営業利益



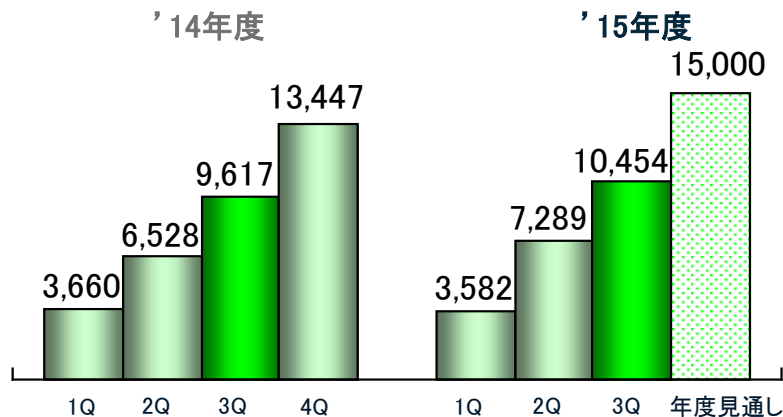
損益 : 対前年同期 +10億円の増益
防衛の増収に伴い、前年同期を上回った。

年間見通し
変更なし

補足資料① 第3四半期決算実績 <機械・設備システム>

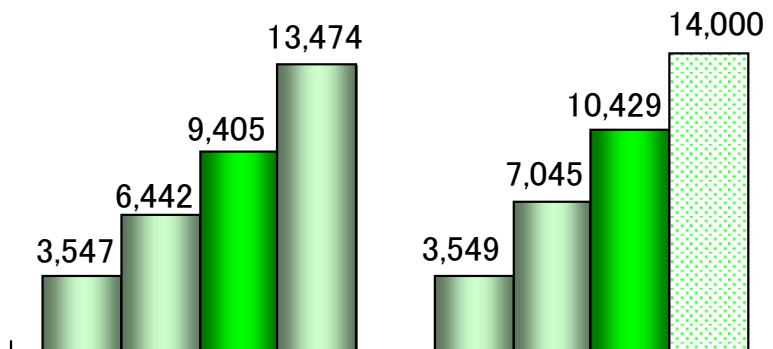
(億円・各期の数値は累計)

受注



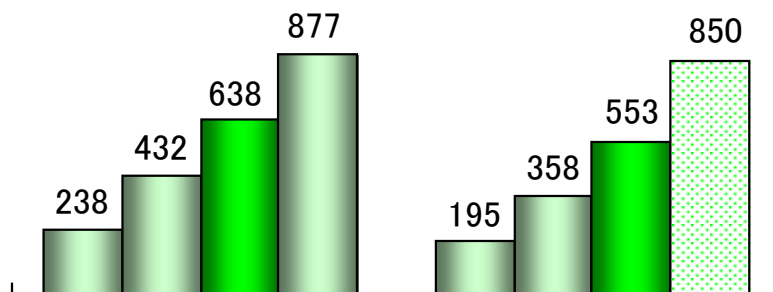
受注 : 対前年同期 +837億円の増加
売上 : 対前年同期 +1,024億円の増収
 製鉄機械・フォークリフトの事業統合効果やターボチャージャ・冷熱等の規模拡大により前年同期を上回った。

売上



損益 : 対前年同期 △84億円の減益
 前年同期に在外グループ会社決算期変更があった影響等により、前年同期を下回った。

営業利益



年間見通し
 変更なし

(※)【報告セグメントの変更について】
 ・事業再編により、一部の事業のセグメントを、「その他」から「機械・設備システム」に変更。
 (表中に記載の実績は、変更後のセグメントに合わせて組み替え)

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位: 億円)

	'14-3Q累計	'15-3Q累計	'15年度 見通し
研究開発費	915	917	1,500
減価償却費	1,147	1,161	1,700
設備投資	1,064	1,164	1,800

2. 販売費及び一般管理費

(単位: 億円)

	'14-3Q累計	'15-3Q累計
販管費	3,796	4,010

3. 為替レート

	'14-3Q累計	'15-3Q累計
USドル(円/USドル)	106.2	121.4
ユーロ(円/ユーロ)	141.2	134.9

4. 海外地域別売上高

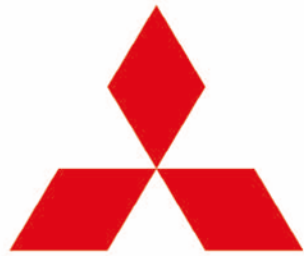
(単位:億円)

	'14-3Q累計	'15-3Q累計
アジア	4,957 (18%)	5,086 (18%)
北米	4,719 (18%)	5,718 (19%)
欧州	2,559 (10%)	2,620 (9%)
中南米	820 (3%)	1,064 (4%)
中東	903 (3%)	767 (3%)
アフリカ	612 (2%)	766 (3%)
大洋州	305 (1%)	215 (1%)
合計	14,877 (55%)	16,239 (57%)

5. 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		'14-3Q累計	'15-3Q累計
日本	売上高	21,220	20,984
	営業損益	1,420	1,520
北米	売上高	3,128	3,855
	営業損益	20	107
アジア	売上高	2,831	2,865
	営業損益	226	242
欧州	売上高	2,300	2,681
	営業損益	54	△ 34
その他	売上高	335	781
	営業損益	△ 4	18
消去または共通	売上高	△ 2,983	△ 2,841
	営業損益	-	-
合計	売上高	26,833	28,326
	営業損益	1,716	1,853



三菱重工

この星に、たしかな未来を